

「親と子の農園」づくりを進め、総合学習、生涯学習に活用しながら、将来に向けた食糧、資源、環境に対する意識の高揚を図り、循環型社会の構築を目指してまいります。

また、今後、家庭から排出される生ごみの処理システムについても、併せて検討を進めてまいります。

生涯学習

三番目の柱となるのが「生涯学習都市」の実現であります。

本市は、市民が心豊かに暮らしていくため、碧水園・白石城・ホワイトキューブをはじめとした、生涯学習施設をいち早く整備いたしました。

その結果、白石城観光ボランティア、白石キューブ合唱団、また学習の成果を古典芸能の祭典として独自に開催している「城の会」のように、多くの市民が、主体性、創造性を持ち、生涯にわたって学習しようとする機運が、一段と高まってきております。

今後、生涯学習施設の有効かつ適切な利用や、学習成果の活用を図りながら、地域の個性を生かした文化の振興、生涯学習の推進に努めてまいります。

情報技術

四番目の柱となるのが「IT先端都市」の実現であります。

十三年度は、IT化に対応したセ



材木岩公園内に復元される「検断屋敷・木村家」

ための、道路詳細測量および地質調査、さらには用地測量を実施いたします。

さらに、白石市指定文化財であります上戸沢検断屋敷・木村家を小原材木岩公園内に復元建築し、地域振興に活用してまいりたいと考えております。

農業の振興

次に、農業の振興についてであります。中山間地域等直接支払事業につきましても、引き続き本事業の目的である農地の耕作放棄を防止するとともに、集落環境の美化事業などを推奨してまいります。

一方、米の生産調整推進事業においては、「そば」の集団転作を目指した団地化への取り組みに対し、支援



情報センターで開催されている「IT講習会」

キュリティー強化を行い、さらに光ファイバーケーブルの多目的活用により、本庁舎、総合福祉センター、農林振興センターならびに情報センター間の電話内線化を実現しました。

新年度は、「電子的な総合窓口」いわゆる電子自治体を目指すとともに、引き続きIT講習会やアテネ塾などの開催による、市民の情報リテラシーの向上に努めてまいります。

男女共同参画社会の実現

二十一世紀を生き抜くために行政が最も力を注がなければならぬのは、男女共同参画社会の実現、NPOとの連携、PFIであると考えています。

そこで、「男女共同参画社会」の実現であります。これまで、市民の意識向上に努めてきたところで

措置を講じてまいります。

さらには、畜産に関する家畜排せつ物の適正処理を進めるとともに、収益性の高い果樹、花卉、野菜、柿の里構想の継続など、積極的な振興策を講じてまいります。

農村集落環境の保全と改善についてであります。農道齋川板木線においては、整備事業を継続実施してまいります。また、郡山、祢宜内、小下倉、齋川鹿の子地区に係る水路およびため池改修事業については、早期完成に向け鋭意努力するとともに、齋川地区中島頭首工あるいは砂押山林道についても、その整備に努めてまいります。

さらに、越河地区農業集落排水事業を、約三十億円の事業費で、平成十九年度末の供用開始を目指して、平成十四年度に新規採択を受け事業に着手してまいります。

商工業・観光

次に、商工業であります。市街地ににぎわいを取り戻すため、福祉の店、ボランティアそば道場、地場産品直売所など、長屋風テナントと水路を配し、城下町風情を醸し出す（仮称）中町ポケットパークを整備してまいります。

また、本年移転完了する刈田病院跡地の活用については、PFI方式も視野に入れた方策を検討してまいります。

さらに、経済対策については、市

あり、積極的な女性の登用にも努めてまいりましたが、十四年度は、さらに本格的な男女共同参画社会を目指すために、「新ホワイトプラン」を踏まえながら、具体的な施設や目標値を設定した（仮称）男女共同参画社会推進条例を制定し、市民ぐるみで男女平等社会の実現に努めてまいります。

教育

次に、教育であります。南中学校体育館建設工事は、平成十四年度の見込みであります。

また、障害児教育の充実のため、白石第二小学校に角田養護学校白石分校の設置を目指してまいります。

さらに、平成十四年度からの完全学校週五日制や、総合学習などの教育改革を進めるに当たって、市内公共施設の小・中学生への土・日無料開放や、地域の特色を生かした教育活動の推進の支援を行います。

都市基盤の整備

次に、土地分類細部調査についてであります。昨年度に引き続き国土交通省の補助を受けながら、継続して実施してまいります。

都市計画道路「中河原白石沖線」については、本年度完成する予定であります。

また、平成十四年度新規採択事業の都市計画道路「沖の沢郡山線」については、本年度は改良工事を行う

制度融資限度額二千万円を五年間延長、保証料の全額補給そして、金利も県内で一番低く設定します。

観光面であります。みやぎ蔵王白石スキー場は、本年度においても辺地債を受けながら圧雪車などを購入するなど、計画的に整備してまいります。

産廃処分場建設計画の白紙撤回

以上、平成十四年度の重点事業については今まで述べたとおりであります。最後に小原上戸沢産廃処分場計画問題については、住民、議会、行政が一体となり、本市独自の「水道水源保護条例」を含め、今後あらゆる手段をもって本計画に対抗し、上戸沢地区の産廃処分場建設計画が白紙撤回されるまで、粘り強い運動を継続展開してまいります。

現在、社会は大きな転換期を迎え、まちづくりにおいても新たな時代認識とともに地域社会の変革に的確に対応し、創造していかねばならないときに差し掛かっております。

私は、この新しい時代に魅力ある活力に満ちたふるさと白石を築くため、全力で市政を執行してまいります。

今後とも、市行政全般に対する、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。施政の所信表明といたします。



「水道水源保護条例」による水源保護地域の指定について、市民などが意見を述べた公開の水道事業運営審議会（平成13年5月）



（仮称）中町ポケットパークの完成予定図



多くの市民に生涯学習の場として活用されている「碧水園」（平成14年1月、碧水園舞台開き）



キューブオープンと同時に結成された「白石キューブ合唱団」（平成13年10月、みやぎ国体・新体操競技開式にて）